

資 料 編

第1回～第9回日本土木史研究発表会論文集

分野別索引

解 説		1
1. 河 川 関 係		2
2. 衛 生 関 係		3
3. 港 湾 ・ 海 岸 関 係		3
4. 地 域 ・ 都 市 計 画 関 係		4
5. 交 通 関 係		5
6. 橋 梁 ・ 構 造 物 関 係		6
7. 景 観 関 係		7
8. 土 木 史 一 般		7

編集 中岡良司（北見工業大学・土木史研究編集小委員）

解 説

1. はじめに

本資料は、第1回（昭和56年）から第9回（平成元年）までの日本土木史研究発表会全論文273編（招待論文を含む）の総索引である。編集にあたっては、各論文を主要関係分野別に分類するとともに研究対象年代を3期に区分し利用者の便宜を図った。本資料が土木史研究の過去の遺産を継承しつつ新たな研究領域の開拓に役立てば幸いである。

2. 分 野 区 分

研究発表会における発表セッション名を参考に各論文を関係する土木工学の専門分野別に分類した。複数の領域にまたがる論文に関しては最も関係が強い分野を編集者が判断するか土木史一般に分類した。表・1に設定した関係分野名およびその構成比を示す。索引は表の順に従い分野別に掲載した。また、同一分野内においては各論文を表題の読みに従い配列し継続課題の把握を容易とした。

表・1 分 野 区 分

主要関係分野	編数 (%)
1. 河 川	68 (24.9)
2. 衛 生	19 (7.0)
3. 港 湾 ・ 海 岸	16 (5.9)
以上、水関係	(37.8)
4. 地域・都市計画	39 (14.3)
5. 交 通	36 (13.2)
6. 橋 梁 ・ 構 造 物	36 (13.2)
7. 景 観	16 (5.9)
8. 土 木 史 一 般	43 (15.8)
全	273 (100.0)

3. 時 代 区 分

明治維新および第2次世界大戦（太平洋戦争）を境に歴史史料の内容は質的、量的に大きく異なる。そこで各論文の研究対象となった時代を以下の3期に区分し研究の時代的関心を示した。

表・2 研 究 対 象 時 代

第Ⅰ期：明治前 (B.C.～1868年)
 第Ⅱ期：明治～第2次大戦 (1868～1945年)
 第Ⅲ期：第2次大戦～ (1945年～)
 対応する期の判断は編集者が論文内容から独自に判断したものである。いま、全論文を対象にその時代的関心をまとめると表・2の通りである。なお、表中の“――”は特に年代との結びつきはない論文である。

時 代 Ⅰ Ⅱ Ⅲ	編数 (%)
○	56 (20.5)
○ ○	18 (6.6)
○ ○ ○	67 (24.5)
○	68 (24.9)
○ ○	48 (17.6)
○	7 (2.6)
――	9 (3.2)
全	273 (100.0)

4. 論 文 番 号

各論文の所在は索引の右欄に発表会回数と論文番号で示した。第4回研究発表会論文集からは論文番号を廃止しているため掲載順に連番を付した。

1. 河川関係

時代 I II III	表 題 (50音順)	著 者 (所 属)	回-No.
○	インドにおける用水路灌漑技術の確立過程 - ガンガー用水路建造を中心に -	多田博一 (大東文化大学)	08-23
○○○	江戸時代における水防の組織と態勢	風間輝男 (㈱アイ・エヌ・エー新土木研究所)	05-20
○○	大河津分水と満願寺水門	大熊 孝 (新潟大学)	02-17
○○	大河津分水の現状について	望月達也・小川淳一・鈴木 栄 (建設省)	05-15
○○○	加賀・梯川水系の歴史	中川武夫 (金沢工業大学)	06-23
○○○	加賀・梯川の水と小松天満宮とのかかわりに関する史的考察	中川武夫 (金沢工業大学)	08-26
○○○	加賀辰巳用水	青木治夫 (日本海コンサルタンツ㈱)	03-05
○	加賀・辰巳用水に係わる技術とその史的考察	中川武夫 (金沢工業大学)	09-16
○	加賀・手取川の流路変遷考	中川武夫 (金沢工業大学)	02-16
○○○	霞堤の機能と語源に関する考察	大熊 孝 (新潟大学)	07-32
○○	河川環境と治水自然主義論	山村悦夫 (北海道大学)	06-21
○○○	河川空間の利用に関する土木地誌 - 茨城県十王川を事例に -	杉山和穂・笹谷康之・小柳武和 (茨城大学)	07-35
○○○	金沢城周辺の水系と水利	中川武夫 (金沢工業大学)	03-04
	川本憲夫 (栗本建材)、古池 久 (京福コンサルタント)、石田郁喜 (三統建設)		
○○○	河北潟干拓と銭屋五兵衛	岡田憲夫 (鳥取大学)、稲松敏夫 (北電産業㈱)	05-18
○	雁堤による富士川の治水と社会への影響 - 雁堤と富士市 -	高橋 彌 (千葉工業大学)	09-13
○	寒風山からの湧水を利用した水利開発事業	堀野一男 (秋田大学)	08-21
○○○	木曾三川と輪中について	山本広次 (元豊田高専)、真下 実 (大垣市)	02-14
○	近世文書にみる水利技術の系譜	石崎正和 (日本河川開発調査会)	04-04
○	近世文書にみる水利技術の系譜 (その2)	石崎正和 (日本河川開発調査会)	05-19
○	近世文書にみる堤高に関する研究	石崎正和 (日本河川開発調査会)	09-10
○	近世文書に見る河川堤防の変遷に関する研究	知野泰明・大熊 孝 (新潟大学)、石崎正和 (日本河川開発調査会)	09-14
○	近代における水防の組織と態勢	風間輝雄 (㈱アイ・エヌ・エー新土木研究所)	06-19
○○○	近代黎明期における河川改修計画についての一考察 - 明治29年2月発表の斐伊川改修計画を具体的事例として -	松浦茂樹 (国土庁)、山本晃一 (建設省)	02-19
○	現代における水防の組織と態勢	風間輝雄 (㈱アイ・エヌ・エー新土木研究所)	08-24
○	鉢山測量術から見た辰巳用水	青木治夫 (羽咋測量設計)	07-27
○○○	信濃川下流部における河道変遷に関する一考察	外川忠利 (新潟県)、大熊 孝 (新潟大学)	05-16
○○○	芝原用水の成立と発展および現在の住民の利用意識	廣部英一 (福井工業高等専門学校)	08-20
	大野木常行 (福井県)、田辺正信 (三和測量建設㈱)、高瀬信忠 (金沢大学)		
○○○	商工都市大阪の水利用と水空間の変容	盛岡 通・末石富太郎 (大阪大学)、広瀬博治 (大阪府)	01-13
○	震災復興事業における河川・運河計画	昌子住江 ((財)政策科学研究所)	09-20
○○○	蛇籠に関する歴史的考察	石崎正和 (日本河川開発調査会)	07-31
○○○	水害防備林の変遷についての一研究	松浦茂樹 (建設省)、山本晃一 ((財)河川情報センター)、浜口達男・本間久枝 (建設省)	08-25
○	水利開発史における寛文期に関する考察	石崎正和 (日本河川開発調査会)	06-18
○○	水利の技術システムに関する研究 - 「筑後川土地改良区」における自家発電による電気灌漑事業を 事例として -	坂本紘二・山下三平 (九州大学)	08-22
○	戦前の河水統制事業とその社会的背景	松浦茂樹 (建設省)	05-23
○	戦前の鴨川改修計画における環境面の配慮	松浦茂樹 (建設省)	07-34
○○○	辰巳用水と兼六園	青木治夫 (羽咋測量設計㈱)	04-02
○○○	辰巳用水と三用水	青木治夫 (羽咋測量設計㈱)、割出賢治 (金沢市)	05-17
○○○	辰巳用水への技術の流れ	青木治夫 (羽咋測量設計㈱)	06-24
○	辰巳用水の施工環境	青木治夫 (羽咋測量設計㈱)	08-07
○	辰巳用水から見た近世初期の木管技術	青木治夫 (羽咋測量設計㈱)	09-17
○	千曲川における寛保2年(1742)8月大洪水の考察	山田啓一 (法政大学)、田辺 淳 (㈱五十鈴)	05-14
○	千曲川における寛保2年(1742)8月洪水の氾濫量の推定	山田啓一 (法政大学)、片桐 剛 (ソフトウェア興業㈱)	07-28
○	千曲川における寛保2年(1742)洪水の規模推定について	山田啓一 (法政大学)	09-15
○○	治水長期計画の策定の経緯とその基本的考え方の変遷	松浦茂樹 (建設省)	06-20
○○	電力土木の歴史 - 各河川水力発電の変遷 -	稲松敏夫 (北電産業㈱)	02-20
○○	電力土木の歴史 - 各河川の水力開発の変遷 (その2) -	稲松敏夫 (北電産業㈱)	03-01
○○	電力土木の歴史 - 各河川の水力開発の変遷 (その3) -	稲松敏夫・氷見野省蔵 (北電産業㈱)	04-05

〇〇	電力土木の歴史	一各河川水力開発の変遷（その４）－	稲松敏夫・氷見野省蔵（北電産業㈱）	05-22
〇〇	電力土木の歴史	－各河川水力開発の変遷（その５）－	稲松敏夫・有賀 明（北電産業㈱）	06-25
〇〇	電力土木の歴史	－各河川水力開発の変遷（その６）－	稲松敏夫（稲松技術士センター）	07-33
〇	電力土木の歴史	－各河川水力開発の変遷（その７）－	稲松敏夫（稲松技術士センター）	08-28
〇	電力土木の歴史	－各河川水力開発の変遷（その８）－	稲松敏夫（稲松技術士センター）	09-12
〇〇〇	東京都の台地部中小河川の治水特性に関する史的考察	高橋 裕（東京大学）、古木守靖（建設省）		01-12
		安藤義久（東京大学）、田辺敏夫（新潟県）、前川忠生（日本国有鉄道）		
〇	東京都の台地部中小河川の治水特性に関する史的考察（第２報）	高橋 裕・安藤義久（東京大学）、前川忠生（日本国有鉄道）、志村知昭（神奈川県）		02-21
〇〇〇	豊川の歴史	山本廣次（元豊田高専）		03-02
〇〇	東大阪地域における河川と舟運について（その１）	天野光三（京都大学）、前田泰敬・二十軒起夫（全日本コンサルタント）		06-12
〇	東大阪地域における河川と舟運について（その２）	天野光三（京都大学）、前田泰敬・二十軒起夫（全日本コンサルタント）		07-26
〇	宝暦治水の回顧	根橋直人（愛知工業大学）		07-29
〇〇	民間治水論に関する考察	石崎正和（日本河川開発調査会）、宮村 忠（関東学院大学）		02-18
〇〇	吉野川の歴史	－土木工学的な立場で－	澤田健吉（徳島大学）、佐々木 久（佐々木建設）	01-11
〇〇	吉野川の歴史	－庄屋・豪農の日記類における川成と昔語の記録－	澤田健吉（徳島大学）、佐々木 久（佐々木建設）	02-15
〇〇	吉野川の歴史（その３）	－藩の農村支配体制の面から見た勤農川除昔語	澤田健吉（徳島大学）	03-03
〇〇	吉野川の歴史（その４）	－農民の治水論から想像される当時の姿－	澤田健吉（徳島大学）	04-03
〇	吉野川の歴史（その５）	－徳島の地方新聞にみる明治年間の治水動勢－	澤田健吉（徳島大学）	05-21
〇〇	吉野川の歴史（その６）	－本流の治水工事と併行した周辺の治水と水利工事－	澤田健吉（徳島大学）	06-22
〇	吉野川の歴史（その７）	－古絵図によって祖立てられた吉野川像－	澤田健吉（徳島大学）	07-30
〇	吉野川の歴史（その８）	－吉野川の治水に導入された労働量－	澤田健吉（徳島大学）	08-27
---	吉野川の歴史（その９）	－まとめとしての史観－	澤田健吉（徳島大学）	09-11

２． 衛生関係

時代 I II III	表 題（50音順）	著 者（所 属）	回・No.
〇〇〇	赤穂水道の沿革と現状	神吉和夫・寛 源亮・多淵敏樹・中西英之（神戸大学）、広山堯道（赤穂高校）	01-15
〇	暗渠水道の起源について	神吉和夫（神戸大学）	07-19
〇	江戸時代の上水道についての２、３の考察	神吉和夫（神戸大学）	02-23
〇	江戸水道の基礎的研究その１－『上水記』にみる江戸水道の構造と機能－	神吉和夫（神戸大学）	08-34
		渡部恒雄（島根県）	
〇	江戸水道の基礎的研究その２－大名屋敷における給水形態－	神吉和夫（神戸大学）	09-18
〇〇〇	近江八幡水道の研究	神吉和夫（神戸大学）	03-07
〇〇〇	大阪市水道の変遷	藤原啓助（大阪市）	02-24
〇	京都下水道前史	小野芳朗（京都大学）	07-20
〇	京都における塵芥処理の変遷－汚物掃除法成立前後を中心として－	山崎達雄（京都府）	04-07
〇	京都における塵芥処理の変遷（その２）－汚物掃除法成立後の塵芥処理について－	山崎達雄（京都府）	07-21
〇	近代上下水道と琵琶湖疏水建設の背景	小野芳朗・宗宮 功（京都大学）	03-06
〇〇	古都における塵芥処理のあゆみ	山崎達雄（京都府）	02-26
〇〇〇	高松水道の研究	神吉和夫（神戸大学）	05-05
〇	滝頭塵芥処理所におけるごみ発電の試みについて	昌子住江（（財）政策科学研究所）	08-35
〇〇〇	彦根藩における水道について－彦根と長浜－	神吉和夫（神戸大学）、三和啓司（滋賀県）	06-17
〇〇	水戸市及び足利市の浄水場における洪水との戦い	小出 崇（新潟大学）	05-07
〇	明治期日本の公衆衛生に関する情報環境	小野芳朗・宗宮 功（京都大学）	04-06
〇〇	明治初期における塵芥処理制度に関する二、三の考察－京都を中心として－	山崎達雄（京都府）	03-08

３． 港湾・海岸関係

時代 I II III	表 題（50音順）	著 者（所 属）	回・No.
〇〇	港湾計画思想の歴史の変遷	長野正孝（運輸省）	08-32

〇〇〇	港湾文化施設の現況	林田 博・佐々木秀郎（運輸省）	03-10
〇〇	昭和8年三陸大津波後の復興事業とその今日的意義		03-09
〇〇〇	島崎武雄・山本 滋（㈱アイ・エヌ・エー新土木研究所）、首藤伸夫（東北大学）		
〇〇〇	地方における港湾の歴史的変遷と地域との係わりに関する調査研究		01-18
〇〇〇	高橋邦雄（福島高専）、湯沢 昭（東北大学）、新井洋一（運輸省）、須田 潔（東北大学）		
〇〇〇	手結港の建設経緯と今後の整備に関する考察		03-11
〇	山下正貴（日本総合研究所）、島崎武雄・野倉 淳（㈱アイ・エヌ・エー新土木研究所）		
〇〇〇	東京港築港と河川改修との関わりについての研究 - 河川からの流出土砂を中心課題として -		01-19
〇〇〇	松浦茂樹（建設省）		
〇〇〇	富山県下新川海岸における侵食と海岸構造物築造の変遷		09-31
〇〇〇	芝野照夫（福井工業大学）、土屋義人（京都大学）、須山 洋（(社)北陸建設弘済会）		
〇〇〇	新潟県出雲崎の歴史	鈴木豊吉（出雲崎史学会）、鈴木 哲（新潟大学）	08-30
〇〇〇	熱田津について	山本廣次（元豊田高専）	01-16
〇〇〇	日本最大の河川港湾伏見港の生成と衰退		08-29
〇	笠松明男・金井萬造（㈱地域計画・建築研究所）、長尾義三（日本大学）		
〇	野蒜築港と安積疎水の歴史的変遷 - 東北開発の先駆けとなった明治プロジェクト -		09-19
〇〇	須田 潔・小林真勝（東北大学）		
〇〇	箱館港の築島とその周辺状況	長尾義三・寺中啓一郎（日本大学）	08-31
〇〇〇	防災支援体制の史的成立過程に関する研究 - 三陸沿岸を事例として -		
〇〇	高野芳裕（八戸工業大学）、五十嵐日出夫（北海道大学）		02-22
〇〇〇	三角西港の築港に関する研究	島崎武雄（㈱アイ・エヌ・エー研究所）、山下正貴（日本総合研究所）	01-17
〇〇〇	港とまちの空間構成上の関連に関する史的調査		05-13
〇〇〇	渡辺貴介（東京工業大学）、水野雅男（(社)地域振興研究所）		
〇〇〇	米代川河口港の歴史的変遷と現代的課題	堀野一男（秋田大学）	09-21

4. 地域・都市計画関係

時代 I II III	表 題 (50音順)	著 者 (所 属)	画-No.
〇〇	秋田県千畑村にみる都市計画 - ハワード田園都市との比較 -		04-19
〇〇〇	清水浩志郎（秋田大学）、折田仁典（秋田高専）、本木正直（岩手県）、林 達夫（秋田大学）		
〇〇〇	大阪における堀川の都市計画的意味	佐藤道彦（大阪市）	02-10
〇〇	大阪の街づくり史 - 市街地整備事業史 -	村上 正・井上俊宏（大阪市）	01-01
〇〇	街路形成にみる日立市の都市計画の変遷		05-33
〇	山形耕一・小柳武和・笹谷康之（茨城大学）、遠藤 毅（茨城大学大学院）		
〇〇	旧城下町における鉄道の導入とその後の町の姿容に関する研究		07-12
〇〇	新谷洋二（東京大学）、堤 佳代（住友海上火災㈱）		
〇〇〇	近代日本都市計画における広幅員道路の系譜 - 100m道路の起源 -	越沢 明（神奈川県）	08-09
〇〇〇	北村真一（山梨大学）、村越正忠（飯沼コンサルタント）		08-08
〇	甲府における都市形成の変遷		
〇〇〇	古代地域計画の原理 その1 対称論 - 仁徳天皇難波高津宮の発見 -	木村俊晃（日本システムリサーチ㈱）	02-12
〇〇〇	古代地域計画の原理 その2 尺度論 - オリент起源の大和尺の発見 -	木村俊晃（㈱水管理工学研究所）	03-16
〇	古代地域計画の原理 その3 幾何図形論 - 金印の島のピラミッド図形 -	木村俊晃（㈱水管理工学研究所）	04-16
〇	古代地域計画の原理 その4 聖山論 - 二等辺長7.76Kmの橿原宮の三角形 -		05-28
〇	木村俊晃（㈱水管理工学研究所）		
〇	古代地域計画の原理 その5 統聖山論 - 政治都市の起源 -	木村俊晃（㈱水管理工学研究所）	06-28
〇	古代地域計画の原理 その6 統幾何図形論 - 太陽神のシンボル七芒星 -	木村俊晃（㈱水管理工学研究所）	07-11
〇	古代地域計画の原理 その7 都市構造論 - 東京の五芒星 -	木村俊晃（㈱水管理工学研究所）	08-11
〇	古代地域計画の原理 その8 統都市構造論 - 世界にまたがる古代都市の幾何図形 -		09-23
〇〇	木村俊晃（㈱水管理工学研究所）		
〇〇	再現モデルによる定住化過程の分析 - 札幌市白石区を例として -		05-30
〇〇〇	山村悦夫・加賀屋誠一（北海道大学）、岩佐正明（岩手大学）、竹村 務（秋田県）		
〇	三本木台の都市計画	高野芳裕（八戸工業大学）、五十嵐日出夫（北海道大学）	01-02
〇	戦前の東京圏における民営鉄道による沿線開発と学園町の形成	松原 淳・山川 仁（東京都立大学）	06-33
〇	大正末・昭和初期の住宅地開発の設計思想に関する実証的研究	西村 浩・中村良夫（東京工業大学）	04-18
〇	大東港の計画と建設（1937-1945年） - 満州における未完の大規模開発プロジェクト -		06-30
〇〇	越沢 明（神奈川県）		
〇〇	台北の都市計画、1895-1945年 - 日本統治期台湾の都市計画 -	越沢 明（神奈川県）	07-13

○	地域開発と治水利水計画 - 鹿島湾北岸の新田開発を中心として -	福成孝三 (建設省)、石黒 勲 (西谷測量隊)	01-14
○○	地耐力からみた札幌市の都市化過程	横平 弘 (道都短期大学)、佐藤馨一・五十嵐日出夫 (北海道大学)	05-29
○○	地耐力からみた函館市の都市化過程	横平 弘 (道都短期大学)、佐藤馨一・五十嵐日出夫 (北海道大学)	06-36
○○	東京の駅前広場計画の変遷 - 明治時代から戦災復興期まで -	橋沢芳雄 (日本大学)、為国孝敏 (土木学会)	09-24
○○	土木施設の快適環境づくりへの寄与 - 現代および明治期の神戸西部市街地を対象にした史的考察 -	盛岡 通 (大阪大学)	07-14
○○○	土木史的再評価に基づいた地域計画に関する基礎的研究	竺 文彦 (福井工業大学)、福島輝幸 (福井大学)	08-10
○	日本占領下の北京都市計画 (1937~1945年)	越沢 明 (神奈川県)	05-32
○	函館、札幌、帯広の都市計画 - 1930・40年代の計画思想の発展 -	越沢 明 (神奈川県)	09-22
○○○	八郎潟干拓事業の史的考察	米谷民恵・竹谷 寛 (秋田県)、清水浩志郎 (秋田大学)	03-12
○○	幕末期の三本木原開拓事業における地域開発と新都市開発の思想と構想	渡辺貴介・スントン・ラブキタロウ (東京工業大学)	04-17
○	福岡市の土木史的考察 (その1) - 古代から秀吉の博多再興 (町割り) まで -	秀島隆史 (高田機工機)	06-34
○○○	福岡市の土木史的考察 (その2) - 黒田長政の城下町建設から現代まで -	秀島隆史 (高田機工機)	07-12
○○○	福山市の土地造成と区画整理の過程について	三輪利英・近藤勝直 (福山大学)、原田正道 (福山市)	06-35
○○	ブラジルにおける日系移民のまちづくり - サンパウロ州レジストロでの事例研究 -	盛岡 通 (大阪大学)	03-15
○	堀直寄と新潟のまちづくり	小林正久 (新潟技術開発センター)	05-12
○	港町新潟の江戸時代の町割について	内山 大 (間組)、樋口忠彦 (新潟大学)	05-11
○	明治期の土木事業費と投資効果 - 琵琶湖疏水事業を例として -	天野光三 (京都大学)	03-13
○	我が国近代リゾート地の発展過程に関する研究	西村 真 (岐阜県建設)、渡辺貴介・安島博幸 (東京工業大学)	06-29

5. 交通関係

時代 I II III	表 題 (50音順)	著 者 (所 属)	回-No.
○	絵巻に見る道路と交通の歴史	藤田美輝 (日本道路公団)	06-11
○○○	親不知のみち - 崩壊・落石とのたたかい -	長瀬龍彦 (建設省)、権平靖生 (建設省)	05-10
○○	関西地方における寺社参詣鉄道の成立と発展について	天野光三 (京都大学)、前田泰敬・二十軒起夫 (全日本コンサルタント機)	08-13
○○	交通路の発達による時間距離の変遷について - リレーション・データベースを用いて -	中岡良司・森 弘 (北見工業大学)、佐藤馨一・五十嵐日出夫 (北海道大学)	06-10
○○○	語源から見た西欧と日本の道概念の比較	篠原 修 (建設省)	05-39
○○○	除雪技術における大・中・小技術システムに関する研究	鈴木 哲・大熊 孝 (新潟大学)、小野沢 透 (住宅都市整備公団)	05-08
○○	除雪技術の変遷に関する研究 - 主として流雪溝について -	鈴木 哲・大熊 孝・米内弘明 (新潟大学)、桐生三男 (東北流雪研究所)	03-20
○○	除雪技術の変遷に関する研究 - 主として道路の機械除雪について -	鈴木 哲・大熊 孝・松本浩司 (新潟大学)	04-15
○	戦前の関東圏における観光関連鉄道路線の展開と誘客策に関する研究	中村雅一 (日立製作所)、稲葉克巳・渡辺貴介 (東京工業大学)	06-13
○○	対雪活動における住民と行政の対応関係の変遷 - 主に流雪構について -	鈴木 哲・大熊 孝 (新潟大学)、小野沢 透 (住宅都市整備公団)、桐生三男 (東北流雪研究所)	06-05
○	冬期道路交通確保対策の発展過程と今後の課題	和田 惇 (大阪府)、増田芳太郎 (建設省)	05-09
○	東京における黎明期の地下鉄づくりに対する史的考察	君島光夫 (東京都)	02-02
○	東京における都市高速鉄道網計画の変遷に関する史的考察	君島光夫 (東京都)	03-19
○	東京の幹線街路形成の史的考察 - 東京市区改正條例を中心として -	堀江 興 (首都高速道路公団)	01-04
○	東山道が果たした役割と地方の地域社会発展に及ぼした影響について - その1 大化改新から平安時代末期まで -	福島二郎・西片 守 (足利工業大学)	05-34
○	東山道が果たした役割と地方の地域社会発展に及ぼした影響について (その2)	福島二郎・西片 守 (足利工業大学)	06-14
○	東山道が果たした役割と地方の地域社会発展に及ぼした影響について (その3)	福島二郎・西片 守 (足利工業大学)	08-15
○○○	道路網のうつり変わり - 九州北部地区を例として -	秀島隆史 (高田機工機)	05-38
○○	内陸水路交通の土木史的研究	佐藤馨一・五十嵐日出夫 (北海道大学)	01-10

〇〇〇	日本幹線道路網の史的考察 ー特に七道駅路と高速道路ー	武部健一（銕片平エンジニアリング）	04-11
〇〇〇	日本幹線道路網の史的考察（その2）	武部健一（銕片平エンジニアリング）、甲斐連一（銕オリエントタルコンサルタンツ）	05-35
○	日本における鉄道用レールの変遷 ー残存する現物の確認による追跡ー	西野保行（東京都）、小西純一（信州大学）、瀬上龍雄（日本石油精製銕）	02-04
〇〇	日本における鉄道用レールの変遷 ー残存する現物の確認による追跡（第2報）ー	西野保行（東京都）、小西純一（信州大学）、瀬上龍雄（日本石油精製銕）	03-17
〇〇〇	日本の道路の歴史 ーその交通手段と整備の時代区分についてー	徳田弘毅（大阪市）	01-03
〇〇	東大阪地域における鉄道路網の発展過程について	天野光三（京都大学）、前田泰敬・二十軒起夫（全日本コンサルタント）	04-14
〇〇〇	東大阪地域における鉄道路網の発展過程について（その2）	天野光三（京都大学）、前田泰敬・二十軒起夫（全日本コンサルタント）	05-24
〇〇〇	北海道の道路	堂垣内尚弘（前北海道知事）	09-01
○	明治開拓期における札幌の交通	堂柿栄輔（北海学園大学）、佐藤馨一・五十嵐日出夫（北海道大学）	04-12
○	明治開拓期における札幌の交通（その2）	堂柿栄輔（北海学園大学）、千葉博正・五十嵐日出夫（北海道大学）	05-36
○	明治期大阪市内交通手段の推移 ー主として人力車・巡航船ー	天野光三（京都大学）、三輪利英（福山大学）、前田泰敬（全日本コンサルタント）	04-13
○	明治期鉄道路網形成の開発効果の測定	森杉寿芳・橋本有司（岐阜大学）	03-18
○	明治期における道路整備に関する一考察	棧沢芳雄（日本大学）、為国孝敏（土木学会）	05-37
〇〇〇	ユーラシア大陸における国際道路交通の歴史的発展と発展要因に関する考察	佐藤 清（建設省）、五十嵐日出夫（北海道大学）	02-01
〇〇	横浜における路面電車の役割の変遷に関する考察	新谷洋二（東京大学）、松谷春敏（建設省）	02-03
〇〇	我が国の道路未整備の背景 ー江戸から昭和初期までー	外山科夫（野沢北高等学校）、二宮公紀・馬場俊介（名古屋大学）	08-14
○	わが国の舗道煉瓦製造史についての一考察	熊倉一見（小山西高等学校）	08-17

6. 橋梁・構造物関係

時代 I III	表 題 （50音順）	著 者 （ 所 属 ）	回-No.
○	アーチは東漸したか	武部健一（銕片平エンジニアリング）	09-26
〇〇〇	絵地図にみる万世橋と橋詰広場の歴史的変遷 ー江戸から今日までー	伊東 孝（法政大学）	08-33
○	江戸時代的心斎橋について ー大阪町橋の研究ー	佐伯章美（日本鉄塔銕）、松村 博（大阪市）	01-08
○	沖繩における歴史的建造物の評価と人物	上間 清（琉球大学）	05-27
〇〇	橋梁架設用操重車ソ1形の歴史	小野田 滋（国鉄）	06-16
○	近世における城と城下町の建設史年表に関する考察	新谷洋二（東京大学）	06-31
○	近世における城と城下町の建設史年表に関する考察（その2）	新谷洋二（東京大学）	07-02
〇〇	毛馬第2閘門の調査と保存	天野光三（京都大学）、米田 悟（建設省）、玉置 享（銕日建設計）	02-09
○	現存するわが国最初の鉄道用鉄桁 ー70ftボニーワーレントラスー	西野保行（東京都）、小西純一（信州大学）	07-22
○	湖畔橋（ベッパロ橋）	石島孝志（千歳市）、篠田哲昭（北海道建設工学専門学校） 大野和彦（中央コンサルタント銕）、早川寛志（北海学園大学）	09-28
〇〇	信越線横川駅跨線橋の保存対策と碓氷線に残る歴史的土木構造物群 ーその現状と土木史的価値検討の試みー	伊東 孝（法政大学）、土屋幸正（国鉄）	05-26
○	震災復興橋梁の計画とデザイン的特徴 ー旧東京市内における復興局架設橋梁を中心としてー	伊東 孝・岡田 孝（法政大学）	04-08
○	震災復興橋梁の構造形式と架設の経過に関する考察	窪田陽一（埼玉大学）、伊東 孝（法政大学）	06-08
○	前方後円墳の技術史 ー土木構造物の起点を考えるー	甘粕 健（新潟大学）	05-01
〇〇〇	田沢湖疏水トンネルの歴史的評価	米谷民憲（秋田県）、清水浩志郎（秋田大学）、折田仁典（秋田高専）	02-25
○	通潤橋について	梅野倫之・米川信之・徳永康則（熊本県）	01-07
〇〇〇	九十九橋架替の土木史的考察	加藤哲男・塚本勝典（福井県）、水野雅男（（社）地域振興研究所）	08-19
○	奈良時代後期の《橋》に関する考察 ー吉田南遺跡の木製構造物についてー	天野光三（京都大学）	02-05
〇〇〇	二重橋の高欄と南部鉄器の歴史について	出戸秀明・宮本 裕・岩崎正二・堀江 皓（岩手大学）	07-24
○	橋の伝承に関する一考察 ー東京の橋を例としてー	昌子住江（銕環境アセスメント研究室）	06-04
○	琵琶湖疏水の長等山トンネルと竪坑	田辺陽一（国鉄）	02-08

○	フォース橋と渡邊嘉一（その1）－埋もれていた明治のある技術者の業績－	三浦基弘（小石川工業高等学校）	02-06
○	明治期東京における主要な橋の配置計画とデザイン思想	伊東 孝（法政大学）	07-17
○	明治初期の農村集落の小規模土木構造物について－神奈川県旧久末村を事例として－	笹谷康之（茨城大学）	06-32
○○	明治時代に製作された鉄道トラス橋の歴史と現状（第1報）－200フィートダブルワーレントラスを中心として－	小西純一（信州大学）、西野保行（東京都）、洲上龍雄（日本石油精製㈱）	05-25
○○	明治時代に製作された鉄道トラス橋の歴史と現状－英国系トラスその2－	西野保行（東京都）、小西純一（信州大学）、洲上龍雄（日本石油精製㈱）	06-07
○○	明治時代に製作された鉄道トラス橋の歴史と現状（第3報）－ドイツ系トラス桁－	小西純一（信州大学）、西野保行（東京都）、洲上龍雄（日本石油精製㈱）	07-23
○	明治時代に製作された鉄道トラス橋の歴史と現状（第4報）－米国系トラス桁その1－	小西純一（信州大学）、西野保行（東京都）、洲上龍雄（日本石油精製㈱）	08-18
○	明治時代に製作されたトラス橋の歴史と現状（第5報）－米国トラス桁その2－	小西純一（信州大学）、西野保行（東京都）、洲上龍雄（日石エンジニアリング㈱）	09-27
○	歴史的石造アーチ橋の安全性評価に関する考察	二宮公紀・馬場俊介（名古屋大学）、福田光修（㈱リクルート）	09-25
○	我が国で最初のマルチプルアーチダム豊稔池の建設	辻 幸和（群馬大学）	06-06
○○	わが国における鉄道トンネルの沿革と現状－旧・関西鉄道をめぐって－	小野田 滋（(財)鉄道総合技術研究所）	08-16
○	わが国における鉄道トンネルの沿革と現状（第2報）－旧・京都鉄道、旧・阪鶴鉄道をめぐって－	小野田 滋・司城能治郎・永井 彰・菊池保孝（J R西日本）	09-29
○○	わが国におけるニューマチックケーソン工法の歴史（その1）	平川脩士（福山大学）	02-07
○○	わが国におけるニューマチックケーソン工法の歴史（その2）	平川脩士（福山大学）	07-25
○	わが国におけるニューマチックケーソン工法の歴史（その3）	平川脩士（福山大学）	09-30

7. 景観関係

時代 I II III	表 題 (50音順)	著 者 (所 属)	回-No.
○○○	絵地図にみる橋詰広場施設と景観の移り変わり－江戸から今日まで－	伊東 孝（法政大学）	06-27
○	江戸時代における隅田川の橋梁の景観に関する研究	高浦秀明（㈱日本構造橋梁研究所）	06-26
○○○	神奈備山の景観構成	笹谷康之（茨城大学）、遠藤 毅（高弥建設）、小柳武和（茨城大学）	07-15
○○	銀座通りにおける街路景観の変遷	天野光一・篠原 修（建設省）	02-11
○	首都高速道路の景観評価	篠原 修・天野光一・阪井清志（建設省）	04-10
○○	震災復興街路の植栽景観計画に関する一考察	大島光博・中村良夫（東京工業大学）	03-22
○○○	西欧近代風景面に見る橋梁景観の主題性に関する考察	窪田陽一（埼玉大学）	07-16
○○	戦前につくられた東京の橋梁の意匠について	高浦秀明（㈱日本構造橋梁研究所）	07-18
○○○	日本の橋梁形式の変遷－橋梁美の客観性について－	高野不二夫（明星大学）	01-06
○	バイパス景観の変遷に関する研究	篠原 修・天野光一・二上克次（建設省）	03-21
○	パリ環状道路の環境設計に関する一考察	天野光一（建設省）	06-15
○	明治期東京の路上構築物と景観について	樋口忠彦（山梨大学）、杉山晃一（東京工大大学院）	01-05
○	明治期の水利施設のデザインに関する考察－神戸・長崎の水道施設群を事例として－	窪田陽一（埼玉大学）	05-06
○	山梨県笛吹川水系に現存する戦前の橋のデザインについて	樋口忠彦（新潟大学）、松下英志（㈱オオバ）	03-23
○○○	横浜港における景観構造の変遷に関する研究	窪田陽一（埼玉大学）	04-09
○○	四谷見附橋のデザイン思想と周辺景観の歴史的変遷	伊東 孝（法政大学・千葉大学）	01-09

8. 土木史一般

時代 I II III	表 題 (50音順)	著 者 (所 属)	回-No.
○○	"Civil Engineering"の語義および日本語訳の歴史的経過について	藤田龍之（日本大学）	08-02
○○○	Solid Waste Management の変遷と課題	内藤幸穂（関東学院大学）	08-12
○	或るスクリーパイルシユアの歴史について	小野寺駿一（東洋建設㈱）	08-06
○	インド近代土木工学の源流－イギリス工兵学の影響－	多田博一（大東文化大学）	07-09

○	海軍施設部門の事業 制度・人事	今沢豊正（馬淵建設）、鈴木恒夫（国際航業）	09-08
---	開発と遺跡	高野浩二（橋建設技術研究所）	07-01
---	科学的精神と詩のこころ -技術史の視点-	飯田賢一（東京工業大学）	04-01
○	環境アセスメントの社会的変遷に関する一考察	西 淳二・渋沢雄二（パシフィックコンサルタンツ（株））	01-21
○	環境アセスメントから見た明治期における工場建設		03-14
		宮村 忠（関東学院大学）、石井忠二郎（芝浦工業大学）	
○○○	切手でみる土木史：日本編	加賀谷長之（秋田県）、清水浩志郎・木村一裕（秋田大学）	05-03
○○○	切手でみる土木史：世界編	加賀谷長之（秋田県）、清水浩志郎・木村一裕（秋田大学）	06-03
---	切手でみる土木史：国際比較	加賀谷長之（秋田県）、清水浩志郎・木村一裕（秋田大学）	07-07
○	国教事業による土木事業実施から戦時体制下における土木工事	鈴木恒夫（国際航業）	08-03
○○○	郷土史を土木史の教材として	大貫三郎・他生徒34名（東京都立田無工業高等学校）	04-22
○○○	「近代日本土木年表」のデータベース化とその利用について		08-01
		中岡良司・森 弘（北見工業大学）、佐藤馨一・五十嵐日出夫（北海道大学）	
○	国づくりの歴史と土木	長尾義三（日本大学）	06-01
○	国有鉄道における地質調査の黎明と発展 -鉄道省土質調査委員会前史-		07-04
		小野田 滋（鉄道総合技術研究所）	
○	古文「おもろさうし」にみる土木事象	上間 清（琉球大学）	07-03
○	震災復興計画の推進体制 -帝都復興院をめぐって-	昌子住江（橋環境アセスメント研究室）	05-31
○	積極と緊縮 震災景気から金融恐慌に至る時代の土木事業	鈴木恒夫（国際航業）	07-06
○○	戦時下から占領下を経ての土木制度	鈴木恒夫（国際航業）	09-07
○	地図型土木史データベースの作成に関する一考察 -鉄道路線データについて-		09-03
		窪田陽一（埼玉大学）、野田裕志（日本ユニシス）	
○○	東海のコンクリートの歴史	山本廣次（元豊田高専）	06-09
---	土木史研究データベースの作成と今後の土木史研究について		07-08
		中岡良司・森 弘（北見工業大学）、佐藤馨一・五十嵐日出夫（北海道大学）	
---	土木史研究の方法論についての一考察	馬場俊介・二宮公紀・三島康生（名古屋大学）	09-06
○	土木史におけるモデル規範適応過程分析（1） -北海道炭鉱技術導入について-	山村悦夫（北海道大学）	08-05
○○	土木史におけるモデル規範適応過程分析（2） -北海道広域三角測量技術導入について-		09-05
		山村悦夫（北海道大学）	
---	土木史の意義と設計への応用	松村 博（大阪市）、佐伯章美（日本鉄塔（株））	01-22
○○○	日本史を通して見た土木 -過去から未来へ-	米倉亮三（東洋大学）	01-23
---	「日本土木史」論	秀島隆史（高田機工（株））	04-20
○○○	年表からみた日本の土木技術の先進性、後進性		09-04
		中岡良司（北見工業大学）、佐藤馨一・五十嵐日出夫（北海道大学）	
○	古市公威と東京停車場	鈴木正章	08-04
○	明治以前日本土木史年表の試作について -リレーショナル・データベースを用いた土木史史料の整理-		04-23
		佐藤馨一・五十嵐日出夫（北海道大学）、堂柿栄輔（北海学園大学）、中岡良司（北見工業大学）	
○○	明治期の攻玉社 -亀井重磨を中心として-	長谷川 博（攻玉社短期大学）	01-09
○	明治行政制度の成立と土木行政機構の推移	鈴木恒夫（国際航業）	01-20
○	明治行政制度の成立と土木機構の推移	鈴木恒夫（国際航業）	02-13
○	明治行政制度の成立と土木機構の推移	鈴木恒夫（国際航業）	03-24
○	明治行政制度の成立と土木機構の推移	鈴木恒夫（国際航業）	04-21
○	明治行政制度の成立と土木機構の推移	鈴木恒夫（国際航業）	05-04
○	明治行政制度の成立と土木機構の整備	鈴木恒夫（国際航業）	06-02
○	明治初期における英国からの技術移植 -R.H.ブランドンの業績を通じた一考察-		07-10
		五十畑 弘（英国NKK）	
○	明治初期の河岸地に関する制度と利用状況について -東京・日本橋区を例として-		07-05
		昌子住江（橋環境アセスメント研究室）	
---	リレーショナル・データベースによる土木史情報支援システムについて		05-02
		中岡良司（北見工業大学）、佐藤馨一・五十嵐日出夫（北海道大学）	
○	わが国における「土木」の語義と歴史的経過について	藤田龍之（日本大学）	09-02